

高校生と教育長によるアイデアソンについて

1 事業の目的

今後の公立高等学校の在り方について、広く県民の意見を把握しつつ、多角的に検討するための一環として、高校生と教育長が直接対話する機会を設けることとした。

2 開催日時 令和7年7月22日(火)午後2時15分から午後4時まで

3 開催場所 徳島県庁11階 CO-CAGEキッチン

4 参加者

公立高等学校等（26校）から「生徒43名」と「ファシリテーター（教員）12名」が参加

5 内容

「未来の学びを創造し、理想の公立高校をデザインしよう！」をテーマに、以下の項目について意見交換を実施

- I. 「未来の学びの場」と「地域とのつながり」について（2グループ）
- II. 「未来を生き抜く力」と「夢への挑戦・追求」について（2グループ）
- III. 「学校の特色化・魅力化」と「自分らしさ」について（2グループ）

6 主な発表内容

【未来の学校が果たす役割・地域と学校の連携が生み出す学び】

- ・地域の人々が集う「みんなの家」、多様な学びの機会の提供、防災拠点としての役割など
- ・地域を巻き込んだ実践的な学びの実現、地域文化の継承と活性化など

【未来を生き抜く力・夢への挑戦・追求ができる環境】

- ・コミュニケーション力、探究心、主体性・行動力、自己管理能力、自己表現力など
- ・多様な経験と学びの機会、助成金、設備の充実など

【学校の特色化・魅力化への取組】

- ・学校名物の作成、地域連携・文化継承、多様な進路選択と個性的な部活動など

【自分らしさを伸ばせる高校】

- ・柔軟な学びをサポート、創造性を育む場など

7 具体的な意見（抜粋）

- ・学校という場所を授業として利用するだけでなく、地域の人たちの話し合いの場や交流の拠点としての役割を果たすことができるようにしてほしい
- ・本当に学びたい学問を、時間をかけてじっくり選ぶことができる制度を作ってほしい
- ・通学時間を朝と昼に分けたり、学びたい科目だけを学べる日を作ったりしても良いと思う
- ・「いてほしい先生」や「来てほしい先生」のリストを作成してそれを叶えられる学校があったら面白い

